

2015 年春季年会

年会プログラム

於 大阪大学

2015 年 3 月 18 日 (水) ~ 3 月 21 日 (土)

日本天文学会

日本天文学会 2015 年春季年会プログラム

期 日 2015年3月18日(水)～3月21日(土)

場 所 大阪大学豊中キャンパス(大阪府豊中市)

電 話 090-4387-6893 <使用期間 2015年3月17日(火)～3月21日(土)>

月日	会場	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
3月18日 (水)	A	受付			受付		R. 銀 河	特別セッション (A会場)		天文教育 フォーラム (A会場)		理 事 会
	B						J2. 高密度星					
	C						N. 恒 星					
	D						M. 太 陽					
	E						T. 銀 河 団					
	F						L. 太 陽 系					
	G						P1. 星・惑星					
	H						K. 超新星爆発					
	I						V1. 地 上 観					
	3月19日 (木)						A					
B		J2./J1. 高密度星										
C		N. 恒 星										
D		M. 太 陽										
E		U. 宇 宙 論										
F		Y. 教育・他										
G		P1. 星・惑星										
H		K. 超新星爆発/W2. 飛翔観										
I		V1. 地 上 観										
3月20日 (金)		A	受付	A. 分子雲衝突	昼休み	ポスター		B. H S C	特別 セッション (A会場)		懇親会	
	B	J1. 高密度星										
	C	Q. 星間現象										
	D	M. 太 陽										
	E	X. 銀河形成										
	F	S. 活動銀河核										
	G	P2. 星・惑星										
	H	W1. 飛翔観										
	I	V2. 地 上 観										
	3月21日 (土)	A		受付				B. H S C				
B		J1. 高密度星										
C		Q. 星間現象										
D		M. 太 陽										
E		X. 銀河形成										
F		S. 活動銀河核										
G		P2. 星・惑星										
H		W1. 飛翔観										
I		V2. 地 上 観										
J		ジュニアセッション										
		9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19

A会場 : B棟1F(大講義室)

B会場 : B棟1F(B107)

C会場 : B棟1F(B108)

D会場 : B棟1F(B118)

E会場 : B棟2F(B207)

F会場 : B棟2F(B208)

G会場 : B棟2F(B218)

H会場 : A棟2F(A201)

I会場 : B棟3F(B307)

J会場 : 大学会館講堂

受 付 : A棟1F(A103及びピロティ)

ポスター会場 : 第二体育館

展示コーナー : 第二体育館

会 議 室 : A棟2F(A203)

懇 親 会 : カフェテリアらふおれ

◎講演数

講演数：合計 677

(口頭講演 (a)：465、ポスター講演 (b)：155、ポスター講演 (c)：57)

◎参加登録について (参加者は、当日必ず参加登録をしてください。)

2011年秋季年会より、講演登録費は、講演申込時にお支払いいただく事になっています。

○参加費用

	会 員	非会員
参 加 費	3,000 円 (不課税)	5,000 円 (消費税込み)
(但し講演ありの場合、参加費は無料)		
講 演 登 録 費	3,000 円 (不課税)	10,000 円 (消費税込み) (1 講演につき)
(但し事前支払がない場合は、会員 4,000 円、非会員 11,000 円)		
年 会 予 稿 集	2,000 円 (消費税込み)	2,000 円 (消費税込み) (購入希望者のみ)

○参加登録受付場所：受付 A 棟 1F (A103 及びピロティ)

○参加登録受付時間：3月18日 11:00～16:00

3月19日 09:00～16:00

3月20日 09:00～16:00

3月21日 09:00～13:30

※参加費は、会期中に受付にて忘れずにご納付ください。

※参加費用支払い時に渡される領収書は、再発行はできませんので、大切に保管してください。

※講演登録者は、講演申し込み後にキャンセル等しても、講演登録費の返金はいたしません。

※懇親会に参加される方は、隣の懇親会専用の受付にて懇親会の参加費をお支払いください。

◎講演に関する注意

1. 口頭発表は 10 会場で並行して行います。口頭講演 (添字 a) は、口頭発表 9 分、質疑応答 3 分です。ポスター講演 (添字 b) は、口頭発表 3 分、3 講演で 12 分を割り当て、座長の判断で質疑応答を行います。

※時間厳守：講演制限時間を超過した場合は、直ちに降壇していただきますので、講演者の皆様は制限時間を厳守できるよう特に万全の準備をお願いします。

2. ポスター発表 (添字 b)、(添字 c) は、3月18日の 12:00 から 3月21日の 13:00 までポスター会場の指定された場所に掲示できます。終了後は速やかに撤去してください。ポスターサイズは縦 180 cm×横 90 cm です。
3. 講演には液晶プロジェクターをご使用ください。液晶プロジェクターは、セッション開始前に PC の接続を確認してください。講演時間は、直前の講演者が降壇した時点から計り始めます。迅速に講演が始められるよう、次の講演者は前の講演中に PC を接続しておいてください。

◎会期中の行事

月 日	時 間	会 場	行 事 名
3月18日 (水)	15:15 ~ 17:15	A 会場	ASTRO-H 特別セッション
	17:30 ~ 19:00	A 会場	天文教育フォーラム
3月19日 (木)	15:45 ~ 16:45	J 会場	会員全体集会
	16:45 ~ 18:15	J 会場	受賞記念講演
3月20日 (金)	15:45 ~ 16:45	A 会場	東アジア天文台構想 特別セッション
	17:15 ~	カフェテリアらふおれ	懇親会
3月21日 (土)	18:00 ~ 20:30	大阪市立科学館 プラネタリウムホール	公開講演会

◎会合一覧表

月 日	時 間	会 場	会 合 名	一般参加可否
3月18日 (水)	19:15 ~ 20:15	会議室	理事会	D
3月19日 (木)	11:30 ~ 12:30	D 会場	代議員総会	D
	11:30 ~ 12:30	E 会場	理論天文学宇宙物理学懇談会報告会	C
	11:30 ~ 12:30	F 会場	宇宙電波懇談会総会	C
3月20日 (金)	11:30 ~ 12:30	B 会場	年会実行委員会	D
	11:30 ~ 12:30	C 会場	天文・天体物理若手の会総会	C
	11:30 ~ 12:30	D 会場	「あかり」データ一般公開説明会	A
	11:30 ~ 12:30	E 会場	日本 SKA コンソーシアム会合	B
	11:30 ~ 12:30	G 会場	高エネルギー宇宙物理連絡会報告会	B

※一般参加可否の説明（オープン化の程度）

- A: 誰でも大歓迎で是非来てほしい
- B: 興味を持った人には広く門戸を開いている
- C: 関係グループ向けのものだが部外者も特に拒みはしない
- D: 関係者のみにクローズした非公開の会合

◎ ASTRO-H 特別セッション：ASTRO-H が拓くサイエンス

日 時：2015年3月18日(水) 15:15～17:15

場 所：A会場

概 要：ASTRO-Hは、日本で6番目の国際X線天文台です。マイクロカロリメータによる超精密分光($E/\Delta E \sim 1000$)や0.3～600 keVの3桁以上もの広帯域での高感度観測が可能となります。銀河団、超新星残骸、ブラックホール近傍などの高温ガスの運動や、非熱的な放射を高感度でとらえることで、宇宙の進化に対する理解が大きく進展すると期待されています。

ASTRO-Hの製作は、国内外のメンバー、担当メーカーの努力により順調に進んでいます。打ち上げは2015年度、そして打上後すぐに観測提案の公募が始まる予定です。天文コミュニティのみなさまにその性能を十分に理解していただき、様々な波長域の観測や理論との連携について議論を進めることを目的に、若手による講演中心の特別セッションを企画しました。

プログラム：1. ASTRO-H 計画の概要 高橋忠幸 (JAXA/ISAS)
2. ASTRO-H の目指すサイエンス
 (1) ブラックホール 山田真也 (首都大東京)
 (2) 超新星残骸 勝田 哲 (JAXA/ISAS)
 (3) 銀河団 田村隆幸 (JAXA/ISAS)
3. ASTRO-H への期待 吉田道利 (広島大)

世 話 人：嶺重 慎 (京都大、代表)、大橋隆哉 (首都大東京)、高橋忠幸 (JAXA/ISAS)、北山 哲 (東邦大)、松下恭子 (東京理科大)

◎天文教育フォーラム：トランス・サイエンス時代の天文学

共催：天文教育普及研究会 後援：日本学術会議物理学委員会 IAU 分科会

日 時：2015年3月18日(水) 17:30～19:00

場 所：A会場

概 要：「科学に問うことはできるが、科学(だけ)では答えることのできない」領域を、トランス・サイエンスと呼びます。例えば牛海綿状脳症(BSE)や原発事故など、社会と科学・技術が重なる領域にある諸課題が、トランス・サイエンス的課題です。これらのトランス・サイエンス的課題が登場してきた背景には、科学の急速な発展と、人々の生活の科学・技術への依存度の高まりがあります。トランス・サイエンス的な課題は時代を反映した、未解決の先端課題であると言えるでしょう。

このような時代背景は、他の科学分野でも共通するものです。天文学分野においても、現代が急速な発展の時代にあることは間違いありません。同時に、天文教育普及分野の活動も活発になり、人々の生活に近い場所へ天文学が普及しつつあります。天文学が社会に浸透し、人々の生活に根ざせば根ざすほど、両者の重なる領域は拡大し、トランス・サイエンス的な領域が天文学分野でも発生することもあり得ます。

今回の天文教育フォーラムでは、トランス・サイエンスとはどのような概念であるのか、その考え方が登場した経緯や、そこから生み出される問いを俯瞰し、その上で、一見すると人々の生活からは遠くにあると思われる天文学分野において、トランス・サイエンス的な課題が設定されうるのかを検討し、それを踏まえた天文教育普及のあり方を議論したいと思います。

登壇者：磯部洋明氏 (京都大学 宇宙総合学研究ユニット 特定准教授)
小林傳司氏 (大阪大学 コミュニケーションデザイン・センター 教授)
海部宣男氏 (国立天文台 元台長 / 国際天文学連合 会長)

費 用：天文教育フォーラムのみの参加費は不要です。天文学会年会受付で、その旨お伝えください。

実行委員：高梨直紘 (東京大学)、篠原秀雄 (埼玉県立蕨高等学校)、谷川智康 (兵庫県立三田祥雲館高等学校)、塚田 健 (平塚市博物館)、安藤享平 (郡山市ふれあい科学館)、石井貴子 (京都大学)、大山真満 (滋賀大学)

◎東アジア天文台構想特別セッション：現状と今後

日 時：2015年3月20日（金）15：45～16：45

場 所：A会場

概 要： 2005年9月に、東アジア各地域を代表する中核天文台である、中国科学院国家天文台（中国）、自然科学研究機構国立天文台（日本）、韓国天文宇宙科学研究所（韓国）、台湾中央研究院天文及天文物理研究所（台湾）の4機関を構成員とする EACOA が組織された。EACOA ではこの10年間研究会の開催や EACOA フェローの設立など、様々な活動を行ってきたが、東アジア各地域の天文学の飛躍的な発展を背景に、2014年9月には、東アジア天文台（EAO）を設立するに至った。EAO の目標は東アジア各地域のリソースを一つにまとめ、東アジア主導で大型の観測天文施設を建設することにある。

特別セッションでは、EAO 初代台長である Paul Ho を招き、EAO 構想の現状と今後について議論をする予定である。

世 話 人：林 正彦（国立天文台）、大西利和（大阪府立大） 大橋永芳（国立天文台）

◎日本天文学会公開講演会

テ ー マ：プラネタリウムと天文学のタベ

日 時：2015年3月21日（土・祝）18:00-20:30（開場 17:30）

場 所：大阪市立科学館プラネタリウムホール

対 象：概ね高校生以上を対象とした内容ですが、申し込み登録いただければどなたでも参加いただけます。

概 要： 1937年に日本ではじめてのプラネタリウムが導入されたことからわかるように、大阪は古くから宇宙に関心の高い土地です。今回、大阪市立科学館と共催で、同館の施設を利用し、プラネタリウム投影を交えた天文講演会を開催します。講演前半は、太陽系内外の惑星の形成に関するお話です。最新の観測装置で探る惑星誕生の現場と、隕石の分析から明らかにされる太陽系の歴史を紹介します。後半は宇宙に多数存在するブラックホールの成長と宇宙の歴史に関するお話です。

内 容：講演1：「最新観測装置で迫る、系外惑星の誕生」

講 師：深川美里（大阪大学 理学研究科・助教）

講演2：「隕石から探る太陽系の歴史」

講 師：寺田健太郎（大阪大学 理学研究科・教授）

講演3：「宇宙はなぜブラックホールを造ったのか？」

講 師：谷口義明（愛媛大学 宇宙進化研究センター長・教授）

申し込み登録：入場無料ですが、事前にインターネット経由で申し込みください。申し込みサイトは、大阪市立科学館ホームページ (<http://www.sci-museum.jp/>) 及び天文学会 2015年春季年会開催地ページ (<http://vega.ess.sci.osaka-u.ac.jp/asj2015a/index.html>) で案内いたします。2015年2月10日より受付を開始し、定員300名に達した段階で受付を終了させていただきます。

春季年会会場 大阪大学豊中キャンパスのご案内



講演会場、受付はキャンパス北部、全学教育推進機構の建物です。石橋門が最寄りの出入口となります。

会場へのアクセス

JR 大阪駅、阪急梅田駅から：

阪急電車宝塚線に乗り石橋駅（特急・急行も停車）で下車 東へ（石橋商店街、阪大坂を通り阪大石橋門を経由して）徒歩約 15 分

大阪（伊丹）空港から：

大阪空港駅から大阪モノレールに乗り、二駅目の柴原駅で下車 北へ（阪大正門あるいは阪大柴原口を経由して）徒歩約 15 分

新大阪駅から：

地下鉄御堂筋線（江坂駅より北は直通運転で北大阪急行線）の終点、千里中央駅で下車 大阪モノレールに乗り換えて柴原駅で下車 北へ（阪大正門あるいは阪大柴原口を経由して）徒歩約 15 分

大阪大学のページ

<http://www.osaka-u.ac.jp/ja/access/>

も参照ください。

大阪大学豊中キャンパスマップ



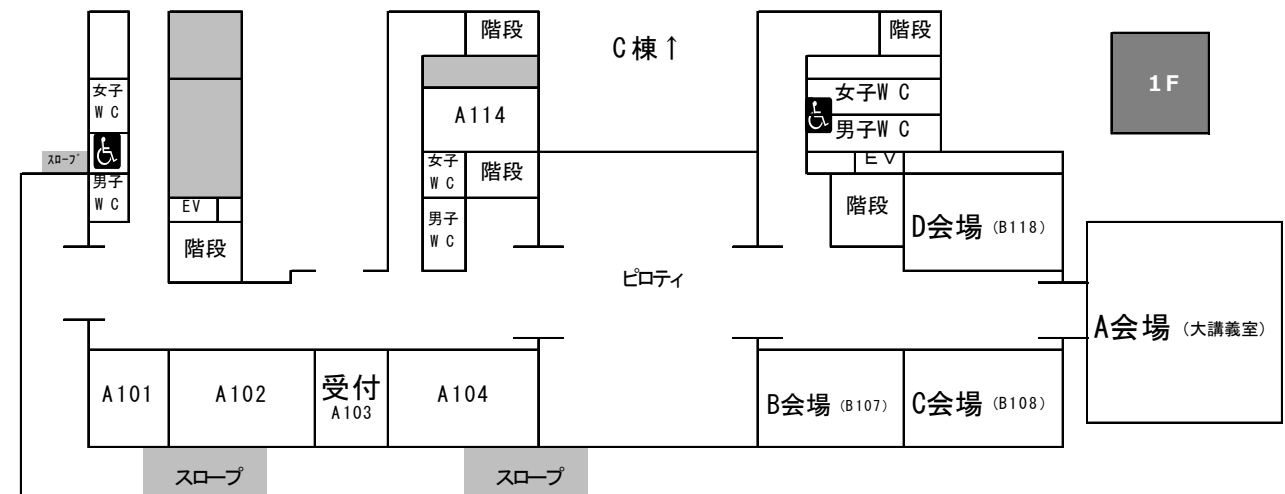
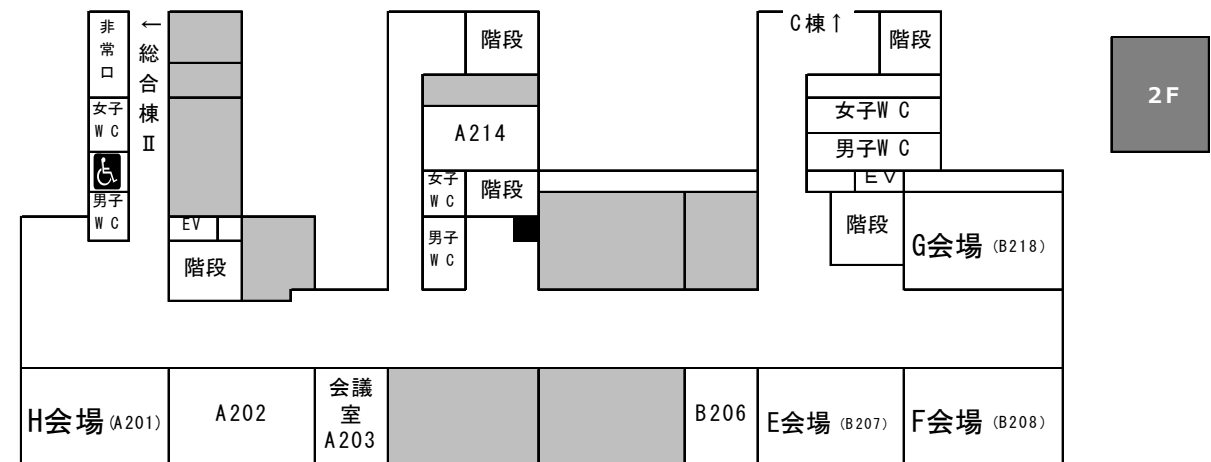
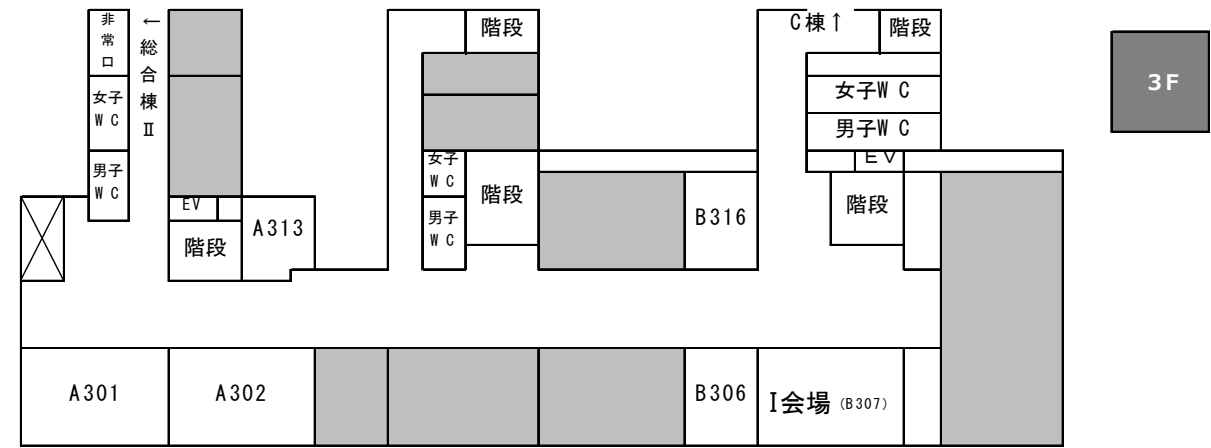
- ・豊中キャンパスの建物内は全面禁煙です。喫煙は屋外指定喫煙場所をお願いします。
- ・建物の中の広い範囲で（ただしつながりにくい部屋もあります）、阪大校内ネットワーク ODINS の無線 LAN が利用できます。使用する場合は、あらかじめ所属機関で Eduroam のアカウントを取得していただくか、受付で発行する ODINS ゲストアカウントを取得ください。
- ・3/21(祝) はキャンパス内の食堂のうち、カフェテリアらふおれのみ営業します。

会場案内図

全学教育講義A棟

全学教育講義B棟

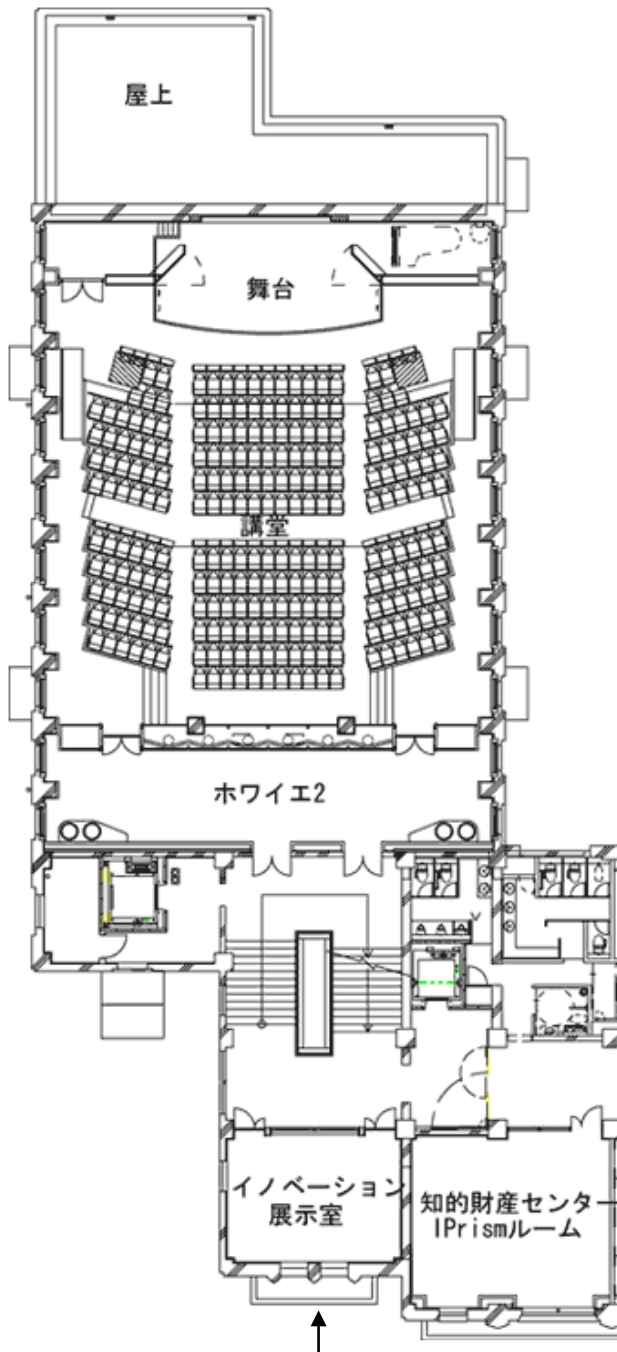
大講義室



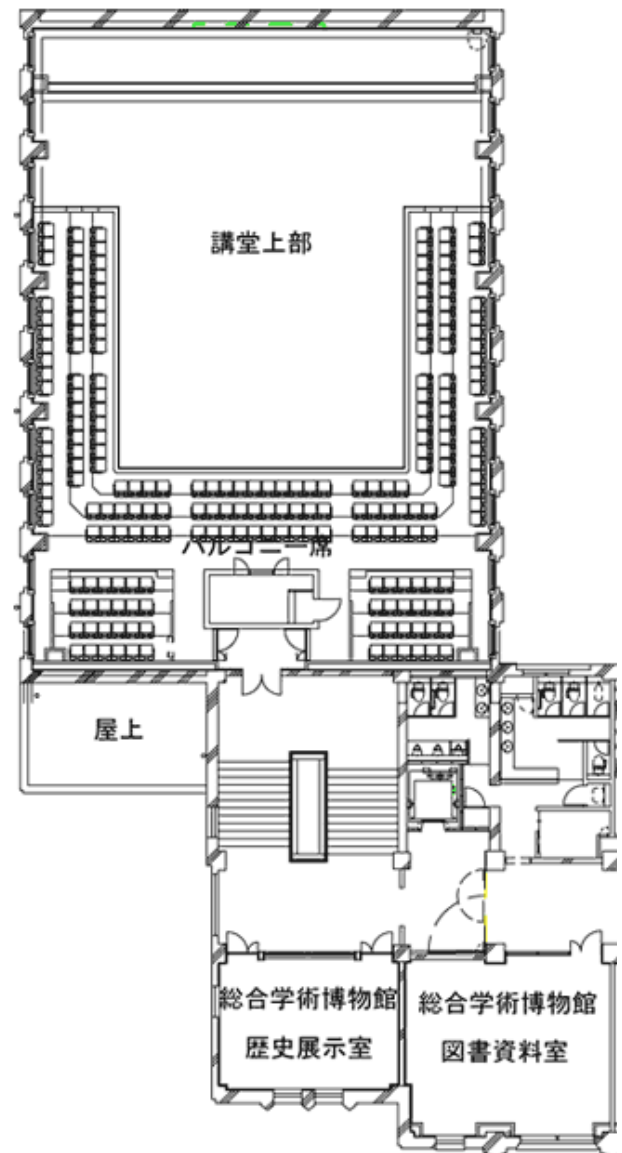
会場案内図

J会場

2F



3F



↑
1階のこのあたりが建物入り口になります